

一流と関わる

経済同友会の協力のもと、「経営者」の方たちに来ていただき、講話、意見交流などを行いました。普通では会うことのできない世界や全国で活躍されている人たちと交流できるということでドキドキとワクワクにあふれていたのではないかでしょうか？先生は経営者の方たちの控え室にいたのですが、いきなり世界の情勢についての話が始まりとても驚きました。

各会場で講話が始まると「働き始めたきっかけ」「自分の学生時代の話」「中学生という年代で頑張った方がいいこと」などの経験談や、「世界の中での日本の企業の話」「これからの日本」などのスケールの大きな話まで幅広くの話をしてもらいました。先生は3つの会場を移動しながら講話を聞いていましたが、どの会場の話もとてもためになる話で、すべての会場の話を聞きたかったなと思いました。一生懸命にメモを取る姿から「自分の将来」を真剣に考えている人たちがたくさんいることがとても嬉しかったです。今のみんなには難しい部分もあったと思いますが、それでも一生懸命に理解しようとする姿勢は、この先の将来にとても価値あるものになると思います。



講話を聴いてどんなことを感じたのか紹介します。

- ・「自分の意見」をはっきりと伝えること、働くということは「誰かの役に立つこと」ということを意識して日々挑戦を続けていきたい。
- ・もっと海外に目を向けていきたいと思いました。世の中に貢献できるように考えながら今を過ごしていきたいと思いました。

- ・働く上で大事なことは自分の仕事にプライドをもつことだと知った。学校生活でも自分の役割にプライドをもってやり抜きたいと思った。
- ・「他人と過去は変えられない、自分と未来は変えられる」という言葉が心に残りました。これからの自分を変えていくために自分の想いを人に伝えることを意識して生活していきたいと思いました。

みんなの講話が終わった後に先生たちも「経営者」の方たちとじっくりとお話をさせていただく時間がありました。そこで先生は「チーム作り（学年作り）」についてお話をさせてもらいました。企業には何百人という人たちがいます。その人たちが会社のために「目標」へ向かって進んでいく。その中には「チームの成長」と「個人の成長」が不可欠だということを知りました。また学年のテーマ「仲間」という視点でも話をさせてもらいました。仲間とは、助け合い支え合うだけでなく、「高め合う」ということも大切だと学びました。協力するだけでなく、時には競い合い、互いに高め合っていくことも仲間の価値があることを学びました。最近、バスケットボールの日本代表の候補が40名ほど選ばれました。「日本を背負う仲間」ですが、最終的には20名以下にまで減らされてしまします。一緒に活動する中で互いを高め合い、競争するのです。そして最後まで選ばれ続けた人が「日本代表」としてみんなの想いを背負って戦うのです。チームの中での競い合い=高め合いの大切さを知ることができました。もっとすばらしい「仲間」をめざしていこう！

「来週以降の予定」

日	曜	内容	下校
16	月	学校訪問	13:15
17	火	部活動強調～7/4(金)	15:25
18	水		15:25
19	木	部活懇談会	16:05
20	金		15:25
21	土		
22	日		



日	曜	内容	下校
23	月		15:10
24	火		15:25
25	水		15:25
26	木	歯科検診	16:05
27	金		15:25
28	土		
29	日		